



特集

綱火

～ 伝承者たち ～

夏の夜を幻想的に彩る、つくばみらい市の夏の風物詩、「綱火」。

あやつり人形と仕掛け花火を融合し、お囃子に合わせて綱を繰る伝統芸能だ。

当市には「小張松下流」と「高岡流」の二流派が伝わっている。綱火は昭和51年に、国の重要無形民俗文化財の指定を受けている。

約400年前から、伝統を守り、その技術を現代に継承する「小張松下流綱火保存会」と「家元」。高岡地区に暮らし、はるか遠い昔から、連綿とその技を今に伝え続ける「高岡流綱火更進団」。今回の特集では、「綱火」を伝承し続ける人々に焦点をあてて取材した。

彼ら伝承者たちの声に耳を傾けることで、また新たな視点から綱火を楽しむことができるかもしれない。

